第３回生涯学習審議会
資料４

生涯学習部の報告事項

１．町田市教育委員会定例会

（１）２０２４年度 第9回 定例会（２０２４年１２月２０日）

＜協議＞

【生涯学習総務課】

・協議事項　１：町田市文化財保護審議会への諮問について

（２）２０２４年度 第１０回 定例会（２０２５年1月１０日）

＜報告事項＞

【生涯学習総務課】

・報告事項　１：令和６年度優良 PTA 文部科学大臣表彰の受彰について

・報告事項　２：「回セ！地域経済－江戸・明治の町田の金融史－」展の実施報告について

【図書館】

・報告事項　３：「没後１周年　森村誠一展　―『小説（ミステリー）』を生きた男の肖像」の実施報告について

・報告事項　４：「落語展～ひとつおつきあいを願います」の開催について

・報告事項　５：「ことばらんどショートショートコンクール 2024」受賞者の決定について

２．町田市議会定例会

（１）町田市議会１２月定例会

＜一般質問＞

吉田　つとむ議員（１２月３日）

国際版画美術館と町田市民文学館の企画展について

・企画展の観覧者数について

・個人と団体の観覧者割合について

（生涯学習部回答）

・　町田市民文学館では、年４回、独自に立案した企画展を開催している。直近１年間に開催した各企画展の観覧者数は、２０２３年１０月から１２月に開催した「生誕１００年　遠藤周作展―ミライを灯すことば」が３，４０１人、２０２４年１月から３月に開催した「少女たちのお手紙文化　１８９０－１９４０展　変らぬ想いは時を超えて」が４，０５９人、４月から６月に開催した「５７５７７展　２ｎｄ」が６，０６１人、７月から９月に開催した「チリとチリリ　どいかや絵本の世界展」が１７，１３４人である。

・　町田市民文学館では、事前に観覧の申込みがあった保育園や学校などを「団体」としている。直近１年間に開催した４つの企画展の総観覧者数３０，６５５人のうち、団体観覧者は３１７人で、約１％である。

熊沢　あやり議員（１２月５日）

新たな学校づくりについて～本町田・藤の台・金井～

・進捗は

①　保護者組織について

（生涯学習部回答）

・　本町田ひなた小学校の保護者組織の体制については、２０２２年度から、本町田東小学校、本町田小学校及び町田第三小学校の保護者組織の役員が中心となり、検討を行っている。

また、先月、２０２４年１１月には、本町田ひなた小学校の保護者組織の準備を担う「（仮称）ひなた小サポーターズ」を立ち上げている。教育委員会としては、新しい保護者組織が円滑なスタートをきれるよう、引き続きサポートしていく。

殿村　健一議員（１２月９日）

公立図書館の役割とさるびあ図書館の存続について問う

・公立図書館と地域図書館の意義と役割を問う。

・ハガキによる予約連絡終了について、理由と対応を問う。

・「さるびあ図書館の集約」について、検討内容と市民への対応、今後の方針を問う。

・「請願」採択と市民の要望に応え、さるびあ図書館を存続すべきだが、どうか。

（生涯学習部回答）

・　公立図書館の意義と役割は、図書館法に定められているとおり、「教育と文化の発展に寄与する」ために「図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資すること」であると認識しており、地域図書館も同様である。

・　町田市立図書館では、利用者が読みたい本をインターネットや窓口で予約することができる。本の準備状況は図書館ホームページで随時確認できるが、希望する方には準備ができた時点で、メールまたはハガキにて連絡をしている。現在、メールによる連絡を希望する方が約９５％となっており、デジタルサービスの利用をさらに促進し、事務の効率化を図るため、ハガキによる連絡は２０２５年２月末をもって終了する。利用者への対応だが、これまでハガキによる連絡を希望していた方には、メールでの連絡方法をご案内している。また、これまでどおり、図書館への来館や電話での問い合わせでも確認できることをお伝えしている。
・　さるびあ図書館については、施設の老朽化を踏まえ、中央図書館への統合に向けた検討をしている。検討にあたっては、これまで町内会・自治会、青少年健全育成地区委員会の皆様などとの個別の意見交換や、地域の代表の方、図書館の利用者、子ども・若者世代等を対象としたワークショップ形式の意見交換会を行ってきた。引き続き、地域の皆様と対話を重ねたうえで、統合に向けた検討を進めていく。
・　町田市立図書館では、将来にわたりサービスを提供していくため、近接している図書館がある場合や、利用状況が大きく減少している場合には、老朽化の状況を見ながら再編を進めており、さるびあ図書館は中央図書館へ統合する。

戸塚　正人議員（１２月９日）

今後の市立図書館と学校図書館の連携について

・「新たな学校づくり推進計画」と「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」の連動性についての考え方はどうか。

（生涯学習部回答）

・　町田市立図書館では、２０２０年２月に策定した「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」において、学校図書館支援の充実を取組項目に掲げており、学校図書館への本の貸出、教員や学校図書指導員への研修、学校向け電子書籍コンテンツの提供などに取り組んでいる。新たに整備する「ラーニングセンター」で行われる教育活動や放課後活動、地域開放などの充実に向けても、連携して取り組んでいく。